



夢・八千浦

活動の様子はこちら

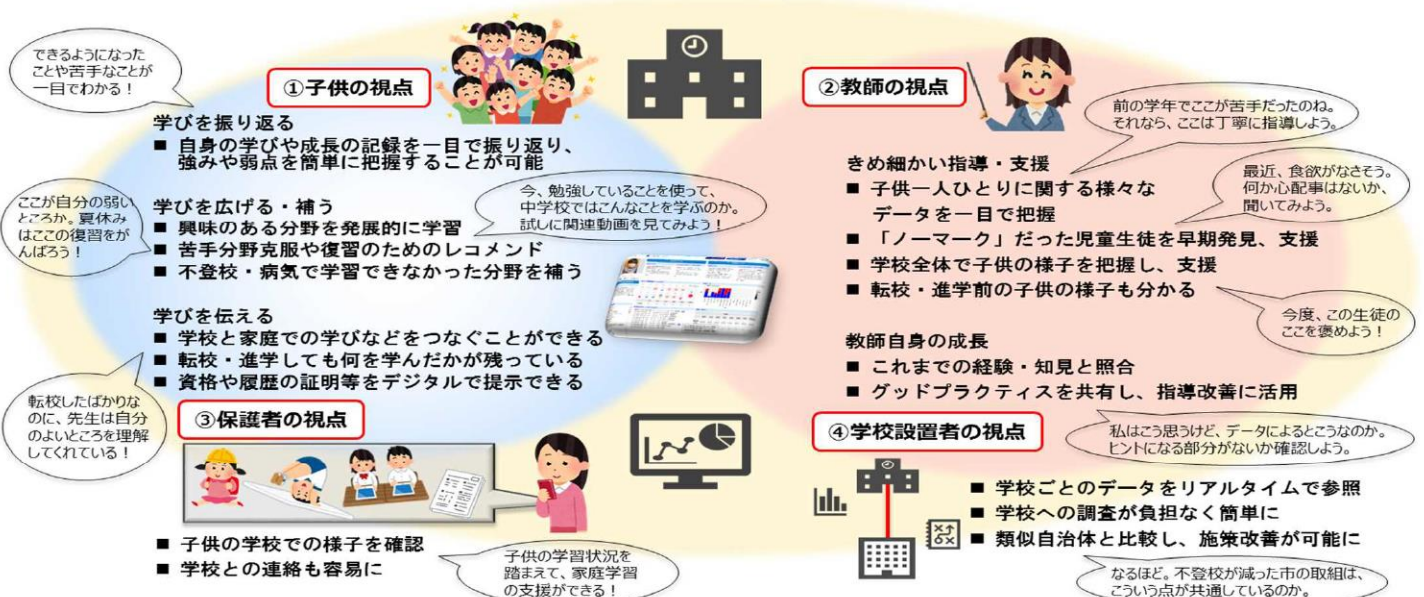
教育現場もDX！

教育DX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉を知っていますか。DXは、ビジネスの現場でよく使われている言葉でしたが、最近では教育の現場でも使われるようになりました。DXを簡単なことばに置き換えれば、「デジタル化」「デジタル変換」ということです。つまり、教育DXは、教育において最新のデジタル技術を活用して、教育の手法や手段、教職員の学校業務などを変革させることをいいます。(下の文部科学省が作成したイメージを参照ください)

21世紀に入ってから社会は急劇に進化し、日常生活にインターネットは不可欠な存在となりました。身の回りは、インターネットに接続する機器であふれかえっており、現在の児童生徒たちは常にスマホ、ゲーム、パソコンなどインターネットにつながる端末に触れながら生活している状況です。学校で育成する資質・能力もデジタルネイティブ世代とも言われている現在の子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくために必要な資質・能力も、インターネットなしでは育成できない時代となりました。そのため、学習方法も大きな変革が求められているのです。

ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症の蔓延により急速に進められたGIGAスクール構想(大容量高速回線の整備、一人一台の端末配備、教育クラウドの活用)により、学校の学びは大きく変わりました。授業はもちろんのこと、毎日、学習用iPadを家庭に持ち帰って家庭学習でも活用するようになり、この数年で、学習用iPadは筆記用具と同様に学習用具の一つとなりました。すでに英語はデジタル教科書が導入されていますが、今後は他の教科でもデジタル教科書が導入されたり、デジタル(アプリ)のドリルやワークブックを活用した学習やコンピュータやタブレット端末で解答するテストなどが取り入れられたりすることでしょう。教職員もこれらの対応に追われているのが現状であり、よりよい教育を実践できるよう日々研修しています。

今年度、上越市は「保護者連絡システム」を導入しました。また、新潟県は来年度の公立高校入試の出願にインターネットを利用したWEB出願を導入します。21世紀のど真ん中を生きていく子どもたちのために、大人もDXしていかなければいけません。



◆ 11月1日は「上越市教育の日」

11月は「上越市教育を考える市民の月間」です。

上越市教育委員会では、平成26年から、11月1日を「上越市教育の日」、11月を「上越市教育を考える市民の月間」として定め、教育・文化団体をはじめ、市民の皆さんから教育に関心を持っていただき、学校、家庭及び地域が連携し、よりよい教育を推進する機運の醸成を図ります。



市民が日頃から教育について考え、積極的に参加するためのシンボルとして、11月1日を「上越市教育の日」とするとともに、教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、11月を「上越市教育を考える市民の月間」として位置づけ、市民に広く周知・啓発し、教育に対する市民の関心を高め、理解を深めるよう努めることを決めました。

引用:上越市HP(<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kyouikusoumu/kyouikunohiseitei.html>)

なお、新潟県も令和5年から、11月1日は「新潟県教育の日」、11月は「新潟県教育月間」となっています。令和4年12月の県議会でその条例が可決されました。

11月18日(土)、オーレンプラザでは、「上越市教育コラボ 2023 学び愛フェスタ」が開催されます。様々な体験イベントや展示があります。ぜひ、親子で足をはこんでみてください。

♣ 11月の予定

上旬頃 教育相談

1日(水) 八千浦学園 人権講話

2日(木) 英語教育研究発表会(3-2 公開授業)

3日(金) はまぐみ市

3日(金) ~4日(土) やちほ文化展

「はまぐみ(公民館)」に全学年の美術作品が展示されます!ぜひご鑑賞ください。

7日(火) 八千浦小6年生 授業・部活動体験

8日(水) 第3回上進連テスト(3年生)

13日(月) 3学年 PTA 進路説明会

14日(火) 市内教職員の斉研修のため給食後下校

15日(水) ~17日(金) 三者面談(3年生)

22日(水) 避難訓練

29日(水) 生徒会企画〔球技〕 掲載

♠ 人権講話について

八千浦学園は、上越市の令和4、5年度同和教育研究指定を受け、同和教育について研究を推進しています。部落差別の解消を目指し、教職員が同和教育に対する理解と認識を深めたり、指導力を高めたりして、児童生徒一人一人に鋭い人権感覚を育む教育を推進しています。また差別や偏見を見逃さない集団づくりを基盤に、差別解消に向けた積極的な同和教育の実践を積み重ねています。

11月1日の八千浦学園人権講話では、絆創膏の会 大湾 昇 様を講師としてお招きし、「出会いと表現 ~あることをないことにしない~」の演題でご講演いただく予定です。大湾 様は、全国で人権や同和教育を中心とする講演活動をされており、本講演会は貴重なお話をお聞きできる機会です。

児童生徒は、小学6年生から中学3年生まで参加します。地域・保護者の皆様も参加することができます。子どもたちと一緒に、人権について学びませんか。申込不要です。

日時: 11月1日(水) 10時30分~11時45分 (10時15分から入場できます)

会場: 八千浦中学校 体育館 (体育館入り口からお入りください)